



令和 3年 5月13日  
五所川原市  
青森河川国道事務所

## 十三湖河口の「津波之塔」(38年振りのあの日の前に) 自然災害伝承碑(国土地理院)に登録

昭和58年(1983)5月26日正午頃、日本海中部地震が発生し、突如襲った大津波は、十三湖河口で釣りをしていた6人の尊い命を一瞬で飲み込みました。天災の恐ろしさを後世に伝えるために造られた「津波之塔」が5月14日(金)に国土地理院の自然災害伝承碑に登録、公開されます。

### ○自然災害伝承碑の取り組み(国土交通省国土地理院HPより(抜粋))

我が国は、その位置、地形、地質、気象などの自然的条件から、昔から数多くの自然災害に見舞われてきました。そして被害を受けるたびに私たちの先人はそのときの様子や教訓を石碑やモニュメントに刻み、後世の私たちに遺してくれました。その一方、水害を伝える石碑があったものの、…過去からの貴重なメッセージが十分に活かされているとは言えません。これを踏まえ国土地理院では、災害教訓の伝承に関する地図分野からの貢献として、これら自然災害伝承碑の情報を地形図等に掲載することにより、…適確な防災行動による被害の軽減を目指します。

自然災害伝承碑サイト: <https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi.html>

### ○自然災害伝承碑情報の内容

自然災害伝承碑に関する情報は、国土地理院のウェブ地図「地理院地図」から掲載

- 1) 碑銘 : 津波之塔
- 2) 災害名 : 日本海中部地震(1983年5月26日)
- 3) 災害種別 : 地震、津波
- 4) 建立年 : 1984年
- 5) 所在地 : 青森県五所川原市十三北口(十三湖水戸口の北突堤脇)
- 6) 伝承内容 : 昭和58年(1983)5月26日11時59分、日本海中部地震(M7.7)が発生し、突如襲った大津波は、十三湖河口で釣りをしていた6人の尊い命を一瞬で飲み込み惨事の湖となった。この地震・津波により死者は104名、死者のうち100名は津波によるものだった。

〈発表記者會：青森県政記者会・建設関係専門紙〉  
問い合わせ先

○五所川原市 総務部 市浦総合支所  
五所川原市相内349番地の1

TEL 0173-35-2111 (代表)

産業建設係 さとう 佐藤 かつひで 勝秀 (内線4019)

○国土交通省 東北地方整備局 青森河川国道事務所  
青森市中央三丁目20-38

TEL 017-734-4521 (代表)

計画課長 たてやま 館山 ゆきひろ 幸大 (内線261)



その日 一九八三年五月二十六日正午  
 五月晴れの海は紺碧に輝き 銜並は息をひそめて静もり返っていた  
 この刻 突如天地鳴動し 地を裂き人家を倒し 地下水を噴き上げて日本海中部地震が襲来した そしてその恐怖の震撼はまがりしうちに浪牙は咆哮し 波頭は一瞬にして岬を呑んだ  
 津波だ 逃げまどう者 怒濤に捲き込まれる者 修羅のなか必死の救難も及ばず 遂に六名の人影は湖底に消え去った  
 この塔は その霊に對する鎮魂の碑であると共に 興国元年以来の歴史的惨事を後世にととのめ 爾後 不断の備えに心をすることを希って建立したものである  
 一九八四年五月二十六日  
 第四代 市浦村長 三重 貢撰文  
 永澤

